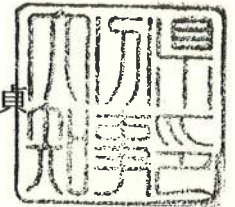




生環第 851 号
平成23年7月28日

株式会社戸高鉱業社
代表取締役社長 戸高 善之 殿

大分県知事 広瀬 勝貞



戸高鉱山神野集積場建設事業に伴う環境影響評価準備書に対する意見
について

平成23年5月9日付けで提出のあった上記環境影響評価準備書について、大分県環境影響評価条例第25条第2項で準用する第20条第1項の規定による意見は、下記のとおりです。

記

1 全般的事項

- (1) 環境影響評価書（以下「評価書」という。）の作成に当たっては、事業実施区域及びその周辺の自然環境や本事業の特性等を踏まえて、予測及び評価の内容について見直しを行うとともに、調査結果についても必要に応じて適切な表現に修正すること。
- (2) 本事業の実施に伴って一時的に森林面積が減少し、水源涵養機能が変化することから、事業の進捗状況に応じて、事業実施区域の緑化を行うことが重要である。
したがって、県と協議のうえ、工事工程に基づいて緑化計画を策定し、適切な緑化が図られるよう努力すること。
緑化計画の策定に当たっては、可能な限り地域の郷土種を採用するとともに、動物の食害による影響や緑化に利用する客土の確保についても検討すること。

2 個別的事項

(1) 騒音・振動

騒音・振動については、既存の八戸集積場及び集落の現況調査を基に本事業の実施に伴う影響を検証しているが、工事に使用する車両の台数、道路や地盤の状況等の条件が同等であることが前提である。したがって、これらの条件を明らかにしたうえで検証が妥当であることを確認するとともに、その内容を評価書に記述すること。

(2) 水環境

水質汚濁調査の結果、降雨後に高くなる傾向のある全窒素の濃度について、鉾山で使用している火薬由来の窒素による影響が考えられることから、このことについて検討のうえ、評価書に記述すること。

(3) 動物

①動物全般

動物相及び生息環境に及ぼす影響の予測において、地域の生物多様性の質的变化の程度に言及して予測及び評価の記述を見直すこと。

②鳥類

事業実施区域周辺に生息していると考えられるクマタカについては、事前調査や環境影響評価準備書の提出後に行った調査の結果も踏まえて、予測及び評価の内容について見直しを行うこと。

(4) 生態系

生態系の評価に当たっては、生物多様性の保全を図ることを環境保全目標として記述の見直しを行うこと。

(5) 環境モニタリング調査

①調査項目

調査項目に「緑化の状況」及び「ニホンジカの行動状況」を追加すること。

②調査計画

詳細な調査計画の策定に当たっては、県と協議すること。また、希少猛禽類（クマタカ）に係る調査については、事業実施区域周辺の番（つがい）の繁殖行動を考慮した調査計画とすること。

③報告

調査計画に基づいて実施したモニタリング調査の結果については、定期的に県へ報告すること。

3 関係市長からの意見について

臼杵市長から次のとおり意見があったので、この内容についても十分勘案すること。

(1) 総括的事項

臼杵市においては、農業用水・上水の確保は重要な課題であり、計画地が臼杵川の最上流部に位置することから、臼杵川流域の水源涵養力への十分な配慮が必要と考えている。このため、計画地の緑化の適切な実施により、できるだけ早い時期に涵養力を復元していくことが必要である。したがって、集積場の緑化に当たっては、既存の八戸集積場での緑化の実績や動物による影響を踏まえるとともに、緑化・植栽の状況について、適宜、臼杵市へ報告すること。

(2) 個別事項

最近の異常的な少雨により、市民、特に農業者の水量に対する関心が高くなっていることから、河川流量についてはモニタリング調査を行うこと。